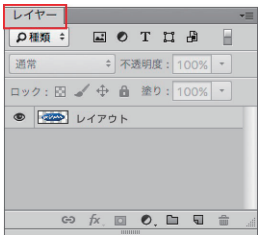


■ カットパス(ハーフカット)について

- ・ カットの形状は、カットパスの作成をお願いいたします。
[ウィンドウ]→[パス]からパスパレットを表示し、作業用パスでカットパスを作成してください。(図参照)

※画像で作成された線には対応していません。

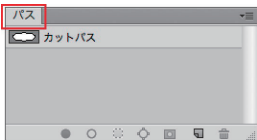
< デザインデータ >



デザインは「レイアウト」レイヤー上に作成。

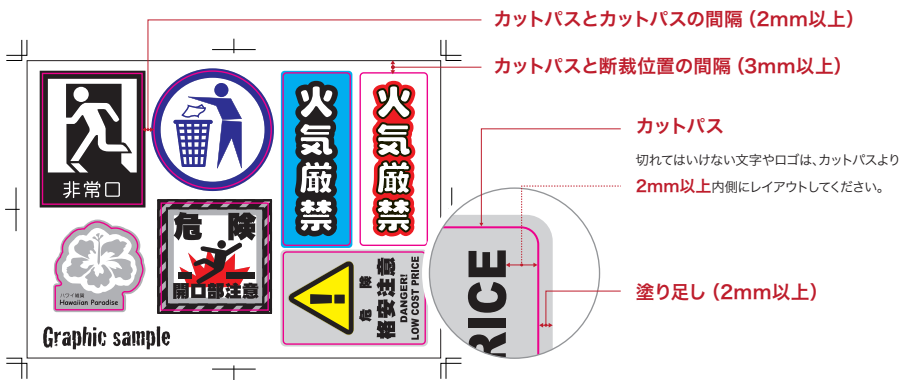
※カットパスは作成しないでください。
カットパスがレイヤー内にある場合は、印刷されてしまう可能性があります。

< カットデータ >



作業用パスにカットパスを作成。

※カットパスのみ作成してください。
デザインと同座標(同じ位置)に作成してください。



カットパスとカットパスの間隔 (2mm以上)

カットパスと断裁位置の間隔 (3mm以上)

カットパス
切れてはいけない文字やロゴは、カットパスより
2mm以上内側にレイアウトしてください。

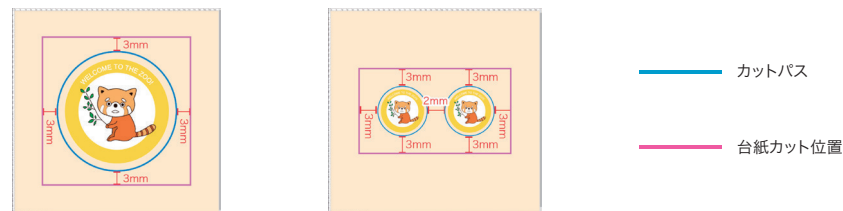
塗り足し (2mm以上)

- ・ カットパスは、始終点が閉じた一筆書きの図形でご指定ください。
- ・ カットパスの外側に2mm以上の塗り足しを作成してください。
また、切れてはいけない文字やデザイン、均等フチ等は、カットパスから2mm以上離して作成してください。
- ・ 複数のハーフカットを配置する場合は、カットパス同士2mm以上の間隔を開けてください。
- ・ 複雑/鋭角な形状は、お受けできない場合がございます。

■ 台紙サイズ(仕上がり位置)について

①ハーフカット位置のみを指定した場合

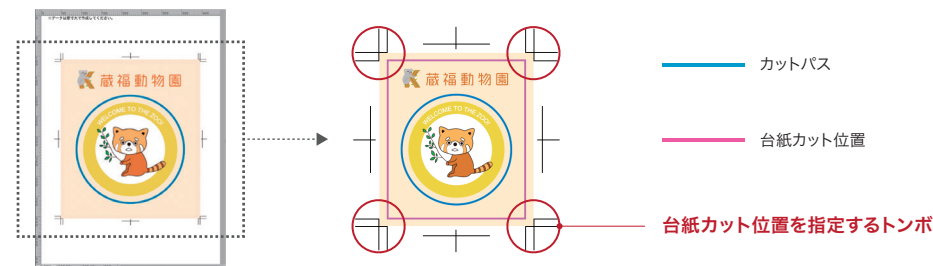
台紙カット位置の指定がない場合は、ハーフカットパスの外側およそ3mmの位置で台紙カットをいたします。



②台紙カット位置を指定する場合

- ・ 台紙カット位置を指定するトンボを作成してください。
- ・ カットパスと台紙カット位置の間隔は、3mm以上離してください。

※台紙のサイズをお客様にてご指定いただく場合は、台紙サイズの面積を基準にご注文ください。



■ 白インクの指定について (用紙が「イーゼードット クリア」の場合のみ)

オプションで「白インクの指定」をご利用いただく場合は、ホワイト版の作成をお願いいたします。
「ホワイト」レイヤー上に、「レイアウト」レイヤーの位置を基準として、ホワイト版の原稿を作成してください。

ホワイト版で印刷する箇所は**Kのみ**で作成してください。

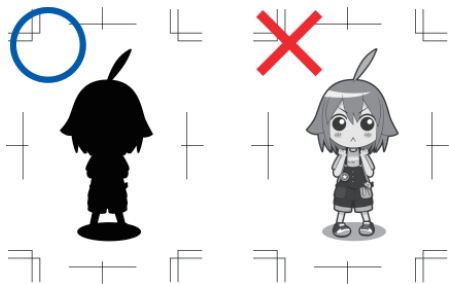
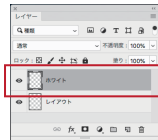
「ホワイト」レイヤー上の**Kのみ**で指定された濃度がそのまま白インクの濃度になります。

※CMYKのデザインデータをIllustratorやPhotoshop上で変換するだけでなく、
変換後の濃度も必ずご確認ください。

※白インクは、グラデーションのような綺麗な濃度差は表現できません。

基本的には濃度100%をお勧めいたします。

< ホワイトレイヤー >



必ずK=100%でご作成ください

CMYKデータをグレースケールに変換しただけの状態。
Kの濃度=ホワイトの濃度になるため、ホワイトが薄く
印刷され、綺麗に仕上がりにません。

※薄い濃度の部分は、綺麗にホワイトがのらず、下地の
素材がでてしまいます。

■ 対応するデータ形式

保存形式：PSD

■ RGBカラーモードについて

RGBでご入稿いただいたデータは、当社印刷標準プロファイルに基づいてCMYK変換いたします。
(ただし、ご注文時に「RGBデータ入稿」オプションを選択されている場合は、変換いたしません。)

※RGBに近い鮮やかな仕上がりをご希望の場合は、「RGBデータ入稿」オプション(オンデマンド印刷限定)を
ご利用ください。

・「RGBデータ入稿」オプションについてはこちら